



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2013～2014年度 RI会長 ロン D. パートン

RIテーマ Engage Rotary Change Lives ローターリーを实践しみんなに豊かな人生を

クラブテーマ「初心にもどり自分とクラブを見つめ直そう」会長 山本良一

副会長 矢岸貞夫 幹事 加藤正幸

第1163回 例会 2013.12. 6(金)晴

司会:石井和郎君 指揮:小島 真君
ロータリーソング「奉仕の理想」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 ブケ東海三島

TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 山本良一君

12月に入りました、師走です、慌
げずに毎日を過ごしたいものです。

今週は12月の第1例会「年次総会」
です、ロータリークラブの行事の中で、
クラブ定款で定められているクラブ
の会合は「例会」と「年次総会」です。
役員を選出する年次総会も同様に
クラブ定款で義務化されています。

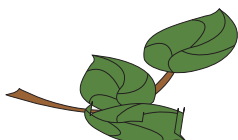


せせらぎ三島ロータリークラブ細則 第3条第1節 役員を
選挙すべき会合の1ヶ月前の例会において、その議長たる
役員は会員に対して、会長(次々年度)、副会長、幹事、
会計、および4名の理事を指名することを求めなければな
らない。その指名は、クラブの決定するところから従って、指
名委員会または出席全会員のいずれか一方または双方
によって行なうことができる。指名委員会を利用することを
決定した場合、かかる委員会をクラブの定めるところに従
って設置されなければならない。

11月1日の例会において指名方法を出席会員に諮ったと
ころ指名委員会設置が決定し、せせらぎ三島ロータリーク
ラブ内部規定第2条(1)毎年11月の第1例会に於いて、現
会長は次年度の役員および理事の指定を求めなければ
ならない。その結果、会長一任に決定の場合、現会長は
指名委員を委嘱する。この指名委員会は理事9名と、会
長が選んだ理事以外会員4名とする。

従って理事9名以外は中村・大房・渡辺・太田パスト会長の
4名にお願いをいたしました。11月29日例会後、指名委
員会が開催され提出された案を審議した結果、12月の年
次総会への提出が決定しました。

本日の年次総会において次年度の理事役員が決定しまし
た、いよいよ次年度に向けてのスタートです。



出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	28/32	87.50%	30/32	93.75%
今回	26/32	81.25%	会員総数	34名

欠席者 あなたが見えなくて残念でした。
大房君、服部君、望月君、山口(雅)君、米山君、渡邊君

第7回理事役員会報告

平成25年12月6日 金曜日 19時30分 まり
ブケ東海三島

出席者・ 山本良一 小林 勝 矢岸貞夫 宮澤正昭
土屋 巧 太田政人 石井和郎
山田定男 杉山 隆 加藤正幸

司会者・ 加藤正幸

①クラブ奉仕委員会

今年度にて活動を停止するハンドベル、今後どのような
活動をしたら良いか。会員全員に、どのようにしたら良い
かアンケートを実施する。

②1月25日にIMを御殿場PCで実施するので、来週出
欠席をとる。

幹事報告

幹事 加藤正幸君

1. フィリピン台風支援金
本日再度スマイルお願い
2. 例会終了後、12月度理事・役員会開催

卓話

忘れて良い事、忘れてはいけない事

杉山隆君

「人間は忘れるようにつづられているんです。この「忘れる能力」という事は「救い」です。」この言葉は、作家であり僧侶でもある瀬戸内 寂聴さんのエッセイです。この様に「忘れる」という事を肯定するいくつかの言葉があります。ここでいくつか紹介させていただきます。

・「忘却なくして幸福はありえない」… アンドレ・モーロア
・「幸福の鍵は健康と健忘ね」… イングリット・バークマン
・「誰もがたくさんもっている今の幸せに目を向けなさい。
誰もが少しはもっている過去の不幸は忘れなさい。 …
チャールズ・デイケンズ

※「よい記憶力はすばらしいが、忘れる能力はいつそう偉大である」… エルバート・ハバード

等々、「忘れる」を美化した名言はたくさん世界のあちこちにあります。この様に、人間は忘れる生き物でもあり、それはある意味忘れる力を持っているのだと思います。

色々な事をすっかり忘れてしまったり、名前や顔を忘れてしまったり、人間は覚える事に比例して忘れてしまうものです。そういった人間の脳内の「忘れる」メカニズムは今後根津先生に卓話の中でも御教授願ひまして、今日はその忘れる事の心の部分について皆様とともに考えていきたいと思ひます。

まず、人はどうして忘れる事ができるのでしょうか？私は、人からよく「ノ天気」、「喉元すぎてすぐに熱さを忘れる」、「お気楽だ」とかささんごんな事を言われます。事実あまり物事を深刻に考えず、一日寝ると前日のちょっとした嫌な事や、トラブルなんか忘れてしまっているタイプです。その反面、経験に継がらず同じ失敗や過ちをおかしてしまう事がただあります。小さな事にクヨクヨしないいい奴だと思ひていますが、例えば、数分前に仕事でスタッフに罵声を浴びせ感情をむき出しにして叱りつけても数分後にはコロッと態度が元に戻ってしまうその変わりようにスタッフはドン引きです。「なに？どうしたの？そんな暗い顔して」なんて急に言われる方はたまったものじゃないでしょう。言われた方は心に傷を負ったり、プライドを折られたりでとてもすぐには立ち直れないでしょう。しかし、どんなに辛く悔しい思いをしても時間という“薬”もしくは“麻醉”によってだんだん忘れていきます。もし、その特効薬がなく、いつまでも心に傷を負っていたら人間はとても70才～80才まで長生きできないかもしれません。(ひどい事を言った方は忘れてしまっははいけません)

忘れてはいけない事といえは、2年前の東日本大震災で多くに人が被害に遭ひいまだに復興がなされていない事。

- ・阪神淡路大震災 1995年(平成7年1月17日)死者6434人
- ・新潟中越沖震災 2007年(平成19年7月16日)死者15人
- ・東日本大震災 2011年(平成23年3月11日)
死者 15883人

18年前に死者6434人を出した阪神淡路大震災などの災害や、二度と繰り返してはいけない世界大戦など完全に過去の事として忘れられる事はとても危険な事だと思ひます。そして、自分達の先祖様の事など忘れてはいけない事は人にとってたくさんあります。

神様が与えて下さった忘れる力と忘れない記憶の力をバランスよく使い、それらの事を理解し、人間関係をより一層良いものとし、素晴らしいロータリー人生を送っていただけらと思ひます。

年次総会

次年度会長に矢岸貞夫君、次年度幹事に小林勝君、クラブ奉仕委員長兼副会長に鈴木政則君、職業奉仕委員長に山田定男君、社会奉仕委員長に土屋巧君、国際奉仕委員長に山口雅弘君、会計理事に米山晴敏君、会場監督委員長に小島真君、に一同賛同し、年次総会を終了した。

会長 山本良一



スマイルボックス

山口辰哉君: たった今、三信三島南支店で澤田さんの講演を聴いていました。例会があるので途中抜けてきましたが、このあと「すみの坊」で合流です。

久保栄子君: ホットニュース！今朝の朝日新聞に岩手大槌町の「ひょっこりひょうたん島」を大槌町が約20万円で購入した、と掲載されていました。

兵藤弘昭君: クリスマスに向けてがんばってまいります。

遠藤修弘君: 本日早退させて下さい。杉山さん、卓話聞けなくて申し訳ございません。

今日の料理

